

WA れぽーと



国際学校で昔遊びフェスタ 竹馬など9種を紹介



マリスト国際学校（須磨区）で2月8日、昔遊び研究会による体験教室が開かれ、園児や生徒たち260人を相手に、竹馬・コマ回し・ぶんぶんゴマ・折り紙・紙ヒコーキ、けん玉・お手玉など9種類の遊びを紹介。一緒に楽しいひと時を過ごしました。同校の日本週間の行事にちなんで毎年行われているもので、この日は、入江敏行代表ら31人がスタッフとして参加。対象者が多いため、幼稚部・初等部・中高等部に分けて実施しました。

小さい子供たちにはお手玉や折り紙、綾取りが人気で、竹馬やコマ回しは高学年に大もて。9種類の遊びを順番に回るスタンプリーも楽しそうでした。ぶんぶんゴマ300個、紙トンボ300個、綾取り紐300本、折り紙など、材料や道具は、スタッフが総出で用意したものです。グループ わ から出向いた担当者は「会場が玄関口ビーでやや狭かったこと。小さい子も、大きい子も同じメニューだったが、少し工夫の余地があったかな」と話していました。（写真は、ブンブンゴマ回しに挑戦する生徒たち）

ミャンマー留学生とクルージング

初春を思わせる3月7日、国際部会はミャンマーの女性留学生と母親を招待し、神戸港をめぐるコンチェルト号でクルージング交流を行いました。彼女は2年間の留学生生活を終え、この春卒業するのを機に、ミャンマーから日本語も英語も解らない母親を呼び寄せて日本を案内して回っています。この日は、午前中の国際部会例会に立ち寄り、記念撮影をしたあと、午後からクルージング。部会から参加した6人と一緒に、海の上から神戸の街を眺め、ティーパー

私のボランティア日記

大正琴で国際親善 山田淑子（食文10）
グループわに入り、5年経ちました。大正琴でボランティアを年12、3回。訪問先もいろいろですが主に老人施設などでの活動です。

22年8月、神戸で国際免疫学会があった際、会場の一隅で開かれた「日本文化教室」は、心に残る活動体験となりました。外国の方々を対象に、大正琴にふれていただくというものでしたが、こういう経験は初めてのこと。メンバーが演奏する30数曲を選び、練習を重ねて、4名ずつで5日間を担当しました。

当日、カナダの女性は「さくらさくら」「上を向いて歩こう」を2、3度で弾けるようになられ、ギターが趣味という男性は、楽譜なしですぐに「禁じられた遊び」を弾かれたのには驚き、思わず拍手、拍手です。言葉が通じない時は、通訳の方の応援を受けて何とか説明しました。たくさんの曲を繰り返し弾いたことも思い出の一つです。

ある新聞のコラムに「ボランティアをしよう。どんな形でもいい」とありました。いろんな人との出会いで学ぶことがたくさんあり、ボランティアまた楽し と思うこの頃です。



ティーで楽しいひと時をすごしました。船上では、ピアノとフルートの生演奏があり、彼女は「早春賦」をリクエストし、「ミャンマーからの留学生です」と船客に紹介されてご満悦でした。（広報・柳川瀧一）（写真はクルージングを楽しむ一行）

3区会長、いきがい部会長が交代

22年度の各区会総会が3月末までに行われ、3区会で区会長の交代がありました。北区 = 笹内孝一氏（園13）西区 = 水野俊夫氏（国14）垂水区 = 元吉治夫氏（園14）いきがい部会長も新年度から岡村健二郎氏に交代しました。